

事業報告書

2020年度
(令和2年度)

社会福祉法人佐久学舎

目 次

- ◎ 社会福祉法人佐久学舎 事業報告書 (2 ページ～5 ページ)
 - 1、監査・指導
 - 2、会議
 - 3、施設整備
- ◎ 佐久こまば学園事業報告書 (6 ページ～9 ページ)
 - 1、概況
 - 2、利用状況
 - 3、利用者の暮らし
 - 4、防災対策
 - 5、家族（又は後見人）との連携
 - 6、関係機関との連携
 - 7、地域との交流
 - 8、建物・設備及び備品
 - 9、職員の状況
 - 10、会議及び研修
 - 11、実習生に対するアンケート調査結果
- ◎ アレーズこまば事業報告書 (10 ページ～11 ページ)
 - 1、概況
 - 2、利用状況
 - 3、活動内容
 - 4、防災対策
 - 5、家族との連携
 - 6、関係機関との連携
 - 7、地域との交流
 - 8、建物・設備及び備品
 - 9、職員の状況
 - 10、会議及び研修
- ◎ アシストこまば事業報告書 (12 ページ～14 ページ)
 - 1、概況
 - 2、利用状況
 - 3、活動内容
 - 4、防災対策
 - 5、家族との連携
 - 6、関係機関との連携
 - 7、地域との交流
 - 8、建物・設備及び備品
 - 9、職員の状況
 - 10、会議及び研修
- ◎ サポートセンターこまば事業報告書 (14 ページ～16 ページ)
 - 1、概況
 - 2、利用状況
 - 3、利用者の暮らし
 - 4、交流事業
 - 5、利用相談事業
 - 6、防災対策
 - 7、家族との連携
 - 8、日中活動サービス提供事業者との連絡調整
 - 9、地域との交流
 - 10、施設(グループホーム)整備等
 - 11、職員の状況
 - 12、会議及び研修
- ◎ 相談支援事業報告書 (16 ページ～17 ページ)
 - 1、概況
 - 2、活動内容
- ◎ 全事業所共通項目 (17 ページ～23 ページ)
 - 1、苦情相談事業
 - 2、その他
 - 1) 異動等
 - 2) 主な動き

令和2年度 社会福祉法人佐久学舎 事業報告書

1、監査・指導

1) 法人監査

期 日 ; 令和2年5月26日(火)13時30分より
場 所 ; アレーズこまば会議室
監査事項 ; 清水・増田両監事により令和元年度事業の実施状況並びに収入支出決算及び財産状況について監査を受け、いずれも適正であると認められた。

2) 令和2年度アレーズこまばの指導監査

期 日 ; 令和3年3月
場 所 ; コロナウイルス感染対策の為、書類の提出による指導となる。
指導事項 ;

3) 令和2年度サポートセンターこまば学園の指導監査

期 日 ; 令和3年3月
場 所 ; 新型コロナウイルス感染防止対策の為、書類の提出による指導となる
指導事項 ;

4) 利用者預り金監査

期 日 ; 令和3年3月18日(水)13時30分より
場 所 ; アレーズこまば相談室
監査事項 ; 利用者預り金を黒澤氏(家族会)と、金川洋氏により、利用者預り金の管理状況について監査を受けました。

2、会 議

第1回理事会

期 日 ; 令和2年6月13日(土)13時30分より
場 所 ; アレーズこまば会議室
議 事 ; 第1号議案 諸規程の一部改正案について
就業規則・嘱託職員等非正規職員就業規則の変更
第2号議案 令和元年度事業報告及び決算報告について
1) 令和元年度事業報告について
2) 令和元年度決算報告について
3) 令和元年度監査報告
第3号議案 評議員会開催の決議について
6月27日、第一回評議員会の開催について承認していただく。
その他

第1回評議員会

期 日 ; 令和2年6月27日(土)13時30分より
場 所 ; アレーズこまば多目的室
議 事 ; 第1号議案 諸規程の一部改正案について
就業規則・嘱託職員等非正規職員就業規則の変更
第2号議案 令和元年度事業報告及び決算報告について
1) 令和元年度事業報告について
2) 令和元年度決算報告について
3) 令和元年度監査報告

上記の通り予定していたが、新型コロナウイルス感染対応の為に中止とし、書面による決議となる。

評議員全員（12名）の同意により、決議される。

第2回理事会

- 期 日 ; 令和2年9月12日（土）13時30分より
場 所 ; アレーズこまば会議室
議 事 ; 第1号議案 諸規程について
社会福祉法人佐久学舎賞罰委員会について
第2号議案 令和2年度社会福祉法人佐久学舎
各拠点区分収支補正予算（案）について
第3号議案 次年度の役員改選について
次年度は理事、監事、評議員の役員改選となるため、今後の流れの
説明。
第4号議案 評議員会開催の決定について
9月19日の評議員会はコロナ対応をして開催とする。
第5号議案 その他
法人における新型コロナウイルス感染対策についての説明。

第2回評議員会

- 期 日 ; 令和2年9月19日（土）13時30分より
場 所 ; アレーズこまば多目的室
議 事 ; 第1号議案 諸規程について
第2号議案 令和2年度社会福祉法人佐久学舎
各拠点区分収支補正予算（案）について
第3号議案 次年度の役員改選について
次年度は理事、監事、評議員の役員改選となるため、今後の流れの
説明。
第4号議案 その他
法人における新型コロナウイルス感染対策についての説明。

第3回理事会

- 期 日 ; 令和3年1月16日（土）13時30分より
場 所 ; アレーズこまば会議室
議 事 ; 第1号議案 諸規程の改正（案）について
育児・介護休業等に関する規定・給与規定について
第2号議案 令和元年度社会福祉法人佐久学舎
各拠点区分収支補正予算（案）について
(1) 法人本部拠点区分（第1号・案）
(2) こまば拠点区分
1) 佐久こまば学園生活介護サービス区分収支補正予算書（第2号・案）
2) 佐久こまば学園入所支援サービス区分収支補正予算書（第2号・案）
3) 佐久こまば学園短期入所サービス区分収支補正予算書（第1号・案）
4) こまば相談支援サービス区分収支補正予算書（第1号・案）
5) アレーズこまば生活介護サービス区分収支補正予算書（第2号・案）
6) サポートセンターこまば共同生活援助サービス区分収支補正予算書（第2号・案）
7) アシストこまば就労継続支援B型サービス区分収支補正予算書（第2号・案）
(3) 令和2年度資金収支予算内訳表
第3号議案 佐久市障がい者支援施設「臼田学園」の民間活用に関するサウンデ
ィング型市場調査について
上記調査に参加依頼があったため参加。
第4号議案 管理者の解任及び選任について
現迫こまば学園管理者が今年度をもって退職となる。次期管理者候

- 補は次回理事会にて提出します。
- 第5号議案 任期满了に伴う役員改選について
任期满了により退任希望されている評議員がいたため定数の確認と候補者の推薦の動きをとりたい。
- 第6号議案 評議員会開催の決議について
1月31日の評議員会はコロナ対応をして開催とする。
- 第7号議案 その他

第3回評議員会

- 期 日 ; 令和3年1月31日(土) 13時30分より
- 場 所 ; アレーズこまば会議室
- 議 事 ; 第1号議案 諸規程の改正(案)について
育児・介護休業等に関する規定・給与規定について
- 第2号議案 令和元年度社会福祉法人佐久学舎
各拠点区分収支補正予算(案)について
- (1) 法人本部拠点区分(第1号・案)
- (2) こまば拠点区分
- 1) 佐久こまば学園生活介護サービス区分収支補正予算書(第2号・案)
 - 2) 佐久こまば学園入所支援サービス区分収支補正予算書(第2号・案)
 - 3) 佐久こまば学園短期入所サービス区分収支補正予算書(第1号・案)
 - 4) こまば相談支援サービス区分収支補正予算書(第1号・案)
 - 5) アレーズこまば生活介護サービス区分収支補正予算書(第2号・案)
 - 6) サポートセンターこまば共同生活援助サービス区分収支補正予算書(第2号・案)
 - 7) アシストこまば就労継続支援B型サービス区分収支補正予算書(第2号・案)
- (3) 令和2年度資金収支予算内訳表
- 第3号議案 佐久市障がい者支援施設「臼田学園」の民間活用に関するサウンディング型市場調査について
上記調査に参加依頼があったため参加。
- 第4号議案 任期满了に伴う役員改選について
任期满了により退任希望されている評議員がいたため定数の確認と候補者の推薦の動きをとりたい。
- 第5号議案 その他

第4回理事会

- 期 日 ; 令和3年3月13日(土) 13時30分より
- 場 所 ; アレーズこまば会議室
- 議 事 ; 第1号議案 諸規程の一部改正(案)について
同一労働同一賃金の取り組みにあたり正規職員と非正規職員の賃金格差をなくしたい。
- 第2号議案 令和2年度各拠点区分収支補正予算(案)について
- 第3号議案 管理者の選任について
「佐久こまば学園」 管理者 早水卓也(統括管理者)
「アレーズこまば」「こまば」の管理者を兼務
- 「アシストこまば」「サポートセンターこまば」
管理者 児玉宏幸(現:アシストこまばサービス管理責任者)
承認される。
- 第4号議案 令和3年度事業計画(案)について
- 第5号議案 各拠点区分収支予算(案)について
- 第6号議案 役員改選について
令和3年6月定期役員会で任期满了となる役員改選について、評議

員選任解任委員会で審議する候補者の推薦について、承認をお願いしたい。

第7号議案 評議員会開催の決議について
3月27日の評議員会はコロナ対応をして開催とする。

第6号議案 その他

第4回評議員会

期 日 ; 令和3年3月27日(土)13時30分より

場 所 ; アレーズこまば多目的室

議 事 ; 第1号議案 諸規程の一部改正(案)について

第1号議案 諸規程の一部改正(案)について

同一労働同一賃金」の取り組みにあたり正規職員と非正規職員の賃金格差をなくしたい。

第2号議案 令和2年度各拠点区分収支補正予算(案)について

第3号議案 令和3年度事業計画(案)について

第4号議案 各拠点区分収支予算(案)について

第5号議案 役員改選について

令和3年6月定期役員会で任期満了となる役員改選について、評議員選任解任委員会で審議する候補者の推薦について、承認をお願いしたい。

第6号議案 その他

第1回評議員選任・解任委員会

期 日 ; 令和3年3月18日(火)11時30分より

場 所 ; アレーズこまば会議室

議 事 ; 第1号議案 社会福祉法人佐久学舎評議員の解任について

第2号議案 社会福祉法人佐久学舎評議員の選任について

瀬戸代表区長の交代により、旧代表区長の解任と、新代表区長が選任されました。

3、施設整備等

- 1) 佐久こまば学園、旧館ディールーム床をフローリングに改修。
- 2) 佐久こまば学園、体育館横門扉設置 正面門扉修繕
- 3) 佐久こまば学園、各居室エアコン設置(数台)
- 4) サポートセンターこまば、各居室エアコン設置
- 5) アシストこまば、作業室2室エアコン設置

寄付

知的障がい福祉協会を通じて、日精 ASB 機械株式会社様より。

- 1) 新型コロナウイルス感染対策、必要備品購入費 百万円 寄付

令和2年度 佐久こまば学園事業報告書

1、概況

今年度につきましては、新型コロナウイルスという見えない相手への対応に苦慮しました。利用者様が楽しみにしている行事をはじめ、買い物や帰省についても制限せざるを得ず皆様への安心安全の確保、また、楽しみの提供についてとても考えさせられました。

そんな中でも施設内でも出来る楽しみの場や利用者様の生きがいになる活動を模索しながら提供し、皆さんの笑顔が見られるときはとても嬉しく感じました。

利用者様の高齢化により身体介護が中心になってきていますが、転倒や骨折等につながってしまうケースもあり、改善策の検討・環境整備も継続した課題です。

また、今年度は2名の方とのお別れがありました。高齢化・病気によるものばかりなのですが、慢性的な疾患をお持ちの方が多くいるので、医療との連携も継続していくところです。反面、新たな出会いもあり、学園生活を快適に過ごしていただけるように支援をさせて頂きました。

2、利用状況

1) 利用者の動向

	氏名	性別	年齢	入退所年月日	備考
入所	K. K 様	女	62	令和2年4月27日	死去(8月15日) 介護保険施設
入所	I. K 様	女	59	令和2年7月1日	
退所	D. S 様	女	41	令和2年8月15日	
退所	N. M 様	女	83	令和2年9月2日	
入所	S. N 様	女	55	令和2年10月1日	
入所	S. R 様	男	35	令和2年11月2日	

注) 年齢は、入退所時満年齢

2) 利用状況

学園(定員 40)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
施設 入所	算定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
	実人数	38	38	38	39	39	38	38	39	39	39	39	39	463	38.6
	延人数	1,088	1,115	1,079	1,104	1,086	1,056	1,149	1,127	1,152	1,138	1,033	1,168	13,295	1,107.9
	利用率(%)	90.7%	89.9%	89.9%	89.0%	87.6%	88.0%	92.7%	93.9%	92.9%	91.8%	92.2%	94.2%	-	91.1%
生活 介護	算定日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269	22.4
	実人数	38	38	38	39	39	38	38	39	39	39	39	39	463	38.6
	延人数	629	689	615	662	700	651	698	702	757	851	633	717	8,304	692.0
	利用率(%)	71.5%	74.9%	69.9%	72.0%	76.1%	74.0%	75.9%	79.8%	82.3%	92.5%	79.1%	77.9%	-	77.1%

利用率(%) = 延人数 ÷ (稼働日 × 定員) × 100

施設入所支援及び生活介護利用者の実人数に対する利用率(%)を次表に報告します。尚、生活介護の稼働日数は、各月の日数-8日を基準としました。

3) 短期入所事業

サービス利用状況

種類	実人数	延人数	延日数
短期入所事業	3人	3人	17日

・延べ人数・日数は前年度に比べ減少しました。

〈R1年度〉

種類	実人数	延人数	延日数
短期入所事業	8人	48人	310日

3、利用者の暮らし

1) 日中活動

*本園で活動する方

利用者さんのニーズを探り、能力を把握し、療育支援・生活支援・介護支援を結びつけた環境の中で、更に可能性が広がるように支援をしました。

また、健康的・精神的な状態を常に把握し、一人ひとりが生きがいを感じられるような活動を創造し、日々穏やかに過ごせるように支援しました。

*アレーズこまばでの活動

在宅の通所利用者と共に活動します。内容は、療育支援を中心とした活動とゆったりとした環境で一人ひとり自律的で楽しく落ち着いた毎日が送れるよう支援しました。

*他事業所での活動

1名の利用者がコスモスワークスのパン工房へ通いました。

☆外部の専門の講師による音楽療法・絵画教室は、今年度はコロナ対策で自粛としたため、行うことが出来ませんでした。

2) 健康管理及び医療機関との連携

生活習慣病予防と早期発見のため、定期健康診断（個別検診を含む）年1回、精神神経科定期往診年4回、歯科検診年2回を行うと共に嘱託医による往診を年4回行いました。又、体重・血圧測定は、毎月行いました。毎月の血圧測定時に、正常範囲外の方、降圧剤服用されている方は適時測定を行い対応しました。

インフルエンザについては、予防接種を実施、また手洗とうがいと外出時マスク着用と予防に努め、今年度は感染する方がいませんでした。

また、ノロウイルスについても、冬季間（11月～4月末）毎日全館のドアノブ、手摺（通年）、食堂、浴室、トイレを消毒すると共に食事前の手洗い消毒を徹底するなど予防に努め発症はありませんでした。

その他、高齢と体力低下、持病の悪化による進行予防のため、早期病変把握の為定期受診の徹底に努めています。さらにリハビリ科との連携によりリハビリを兼ねた体力づくりに取り組みました。また、嚥下機能の低下により誤嚥性肺炎を起こす恐れのある方の食事について、その内容と支援（介助）の方法に細心の注意を払いました。これまで以上に口腔ケア、歯科定期受診等に努めました。

さらに今年度は、新型コロナウイルス感染対策として、佐久病院から講師を招き、施設を見回りながら対策や環境設定（ゾーニング）の仕方を学びました。

入院の状況については下記の通りです。

入院状況

氏名	年齢	入院先	期間	病名
M . T 様	56	佐久HP精神科	4月27～5月21日	静養
S . A 様	52	くろさわ病院	6月9日～6月23日	非結核性抗酸菌症
S . K 様	30	くろさわ病院	6月30日～8月5日	リハビリ依頼
N . M 様	83	くろさわ病院	8月2日～8月30日	慢性心疾患 移施(9/2)
D . S 様	41	医療センター	8月15～	くも膜下出血(永眠)

3) 食事

食事委託業者との食事委員会を毎月開催(年間 12 回)し、食事の内容や利用者からの要望(嗜好調査)等も含め双方で検討しながら内容の充実を図りました。個別対応として、きざみ食、ミキサー食、糖尿病食、透析食、減塩食、肥満傾向の方のカロリー制限の食事、便秘症の方の軟菜食・低残渣食、誤嚥性肺炎の予防と嚥下困難な方の食事にとろみ剤を使用した食事等を看護師、生活支援員、委託業者と常に連携を取り利用者さんの健康状態に合わせた食事の提供をしました。朝食については“ご飯”又は“パン”のどちらかを選択する方法は継続しています。

又、開園記念日(4月)、敬老の日(9月)の混ぜご飯、3月と9月のお彼岸のおはぎ、8月のお弁当形式の昼食、12月の忘年会のお弁当、ひなまつり、端午の節句等季節食として特別献立を提供し好評でした。

9月は防災の日の献立として、防災食を試食しました。

感染症(インフルエンザ、ノロウイルス)が発生しやすい時期(11月~4月)を含め、特に手洗と手指消毒、食堂テーブル・布きんの消毒(食事の前後)、厨房内の器具類、食器消毒を行ない食品衛生管理に一層努めました。

4、防災対策

消防訓練(避難2回、消火2回)を実施し、夜間を想定した夜勤帯の職員数による避難訓練を行いました。しかし、車いす、歩行器に加え歩行困難の利用者さんが増加し外に出るだけでも難しく時間がかかってしまう状況でした。また残された利用者さんの人員把握の大切さを感じました。避難を拒否された場合はある程度強引な誘導も仕方がないとの事、また、消火器の設置場所を職員一人一人が把握しておくようにと消防署より指摘がありました。

避難訓練終了後職員対象として、佐久消防署職員の指導により消火器の取り扱い訓練をしました。消防設備の点検は専門業者に委託し、年2回実施し消防署に届け出ました。

地下タンク・配管機密検査(地下タンク等定期点検)を9月に実施しました。

5、家族(又は後見人)との連携

個別支援計画の作成・見直しはご家族(又は後見人)の同意を得て実施することになっている為、例年ですと4月の家族会総会にあわせて個別懇談を行うのですが、今年度は書面での総会となりましたので、郵送をさせて頂き同意を頂きました。その他、入院後の処置・対応についてはご家族(又は後見人)・病院・施設が連携し対応しました。また、行事等行えなかったため、家族と一緒に楽しむ場は設定できませんでしたが、できうる限り帰省や面会を行える様に配慮しました。

6、関係機関との連携

今年度は短期入所についても自粛となりました。

(2、施設利用状況を参照)

7、地域との交流

地元瀬戸区をはじめ、野沢原区の皆さんと区の行事等も中止となったため、例年のような交流は持てませんでした。

8、建物・設備及び備品

佐久学舎事業報告3項参照

9、職員の状況

1) 令和2年4月1日現在の配置

- a, 管理者（サービス管理責任者兼）（1） b, サービス管理責任者（1） c, 主任生活支援員（1） d, 生活支援員（17） e, 看護師（1） f, 主任栄養士（1）
 合計 22 名（正規 14、嘱託 7、パート 1）
 ☆事務長・事務員（2名）は他事業所と兼務。

10、会議及び研修

- a、 職員会議 (月 1 回) 12 回
 b、 ケース検討会 (月 1 回) 12 回
 c、 管理者・サビ管、主任合同会議 (月 1 回) 12 回
 管理者会議(アレーズにて) (月 1 回・臨時) 15 回
 d、 倫理委員会(アレーズにて) 年 4 回
 e、 食事委員会 年 4 回
 f、 広報委員会 年 3 回
 g、 研修委員会 年 4 回
 h、 虐待防止委員会 年 2 回 (+毎月会議時)
 i、 代表委員会 年 6 回

11、実習生等に対するアンケート調査結果

施設実習をされた皆さんにアンケート調査を依頼し、2 名（実習生数 2 名）の方から回答をいただきましたので次に報告します。

a、施設の雰囲気はどうでしたか？

よ い	やや良い	ふつう	やや悪い	わるい
1 名	0 名	1 名	0	0

☆ 利用者さん、職員さん、どちらとも柔らかい雰囲気で過ごしやすかったです。ですが、トラブルがあると、空気が固まるという印象を受けました。

b、利用者への職員の対応はどうでしたか？

よ い	やや良い	ふつう	やや悪い	わるい
2 名	0	0	0	0

☆ 利用者さんがリラックスできていたので、対応が良かったと思いました。

c、職員の指導・説明の仕方はどうでしたか？

よ い	やや良い	ふつう	やや悪い	わるい
2 名	0	0	0	0

☆ 利用者さんに合わせて、丁寧に指導や説明をされていました。

d、その他、お気づきのことがありましたら何でもご記入下さい。

e、まとめ

☆ 内容は、概ね良い評価を戴きましたが、就職にはなかなか結びつかないものの、第三者的な立場でご意見を伺い、職員一人一人が共通認識を持つ中で、質の向上に繋がっていきたいと思います。

令和2年度 アレーズこまば事業報告書

1、概況

指定生活介護事業所として、地域とグループホームまた、佐久こまば学園から通って来て下さった皆さんに、それぞれに合った形での支援をさせて頂きました。

分かりやすい日課や支援を中心とした療育的支援部門と、ゆとりをもって生活を豊かに過ごしていただく部門に分かれての活動に加え、活動の幅を広げていく新たな柱として作業班を設け活動を展開してきました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のために、様々な活動の自粛をしてきましたが、施設内で出来ることを探りながら提供してきました。

また、今年度は、地域から1名の新しい利用者さんを受け入れることができ、それぞれのペースで一年過ごすことが出来ました。

2、利用状況

月の稼働日数に対する利用率(%)を次表で報告します。尚、合計欄の利用率及び実人員の数値は、月平均値です。

アレーズ(定員 50)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
開所日数	22	20	22	23	22	22	23	22	23	22	20	23	264	22.0
実人数	24	24	23	24	24	23	23	23	23	23	23	23	280	23.3
延人数	375	319	377	357	277	299	350	305	303	191	291	372	3,816	318.0
利用率(%)	34.1%	31.9%	34.3%	31.0%	25.2%	27.2%	30.4%	27.7%	26.3%	17.4%	29.1%	32.3%	-	28.9%

利用率(%) = 延人数 ÷ (稼働日 × 定員) × 100

3、活動内容

アレーズこまばでは、個々の個別支援計画に基づき二つの班に分かれ、さらにその中でも個別活動の充実で個々の安定を図るとともに、仲間と同じ活動に参加することでの達成感や連帯感・存在感を意識していただきました。

・ゆとり班

ゆとりのある日中活動で趣味の充実・生きがい作りを目指し、ご本人の得意とする活動として農作業や制作作業などを行い、楽しく穏やかに過ごしていただきました。

どちらの活動も形となったことで、達成感を得ていただけました。

また、高齢・病体の方もおられることから、心身共に健康でいられるようにと、健康管理を中心に散歩をはじめ、さまざまな工夫をこらして身体を動かすように体操やマッサージを行いました。

・あおば班

療育的支援として、個々に適した環境に近づける事とアプローチを意識して活動を組み立てております。視覚的な提示をはじめ、スケジュールを整理することにより、「わかりやすい」日課を提供し、安心して過ごせる空間の提供を行いました。

また、情緒の安定の上で音楽等により、自己の表現や発散を行える時間を設けることで、楽しい時間をお過ごし頂きました。

個別支援の中で、アシストこまばと連携し仕事につながる作業体験も取り入れることが出来ました。

・作業班

昨年から取り入れてきた作業体験を年間通しての班活動とし、毎日午後をその時間にあて、アレーズ内での活動・アシストに出向いての活動を展開してきました。体験の中から作業、仕事に対しての意識を持つことややりがいをはじめ、様々な事を感じることが出来ました。

・自由利用日

土曜日は班の活動はありませんが、自由利用日としてご希望の利用者さんを受け入れました。

ご家族の都合や、いつもと異なる空間を楽しみたい方にご利用頂きました。(年間 41 日間)

・余暇支援

日中活動の一環としてアレーズ全体でのレクリエーションを季節の行事で 4 回お楽しみ頂きました。班を超えてお互いに認め合い助け合い楽しい時間を過ごされました。また、班ごとにもドライブ・カラオケなどを活動に取り入れ楽しんで頂きました。

その他、法人と連携して行った行事に関しては佐久こまば学園の報告に含みます。

4、防災対策

諸設備の安全点検を定期的に行い、防火管理者を中心に日々の安全点検を行いました。

また、有事に備え避難訓練・防災訓練をしました。(年2回)

5、家族との連携

各家庭、学園、ホームと連携を取り一人ひとりがアレーズでの時間を混乱なく過ごしていただけるよう、またご家族・関係者が安心して送り出していただけるように努めました。

6、関係機関との連携

利用者のご家族をはじめ、各事業所・医療機関・市町村等の関係機関との連携をとり支援の向上をめざしました。見学者や実習生については自粛といった対応をさせて頂きました。

7、地域との交流

新型コロナウイルス感染対策もあり、例年通りにはいかず、地域の行事は中止になったものも含め参加を自粛させて頂きました。

8、建物・設備及び備品

9、職員の状況

1) 令和2年4月1日現在の配置

a, 管理者(兼) 1 b, サービス管理責任者 1 c, 生活支援員 9

d, 看護師 1 合計 12 名(正規 4、嘱託 8)

☆事務長、主任栄養士、事務員(2名)は他事業所と兼務。

10、会議及び研修

a、職員会議(アレーズ会議)	12回(月1回)
b、倫理委員会(アレーズにて)	4回
c、食事委員会	年4回
d、広報委員会	年3回
e、管理者・サビ管、主任合同会議	12回(月1回)
f、管理者会議	15回(月1回+臨時)
g、代表委員会	6回
h、虐待防止委員会	年2回(+会議時)
i、研修委員会	年4回
j、法人研修	書面+1回(全員参加)

令和2年度 アシストこまば事業報告書

1、概況

指定就労継続支援B型事業所として、就労を中心にそれぞれの方に合った形で活動を提供してきました。ですが、今年度に関しましては新型コロナウイルスの影響もあり、こちらの思った通りの仕事が確保できず、利用される皆様には満足のいく活動が提供できない時期もありました。それも影響してか不安定になってしまう方や、通所すらできなくなってしまう方もおられましたので、改めて今までの日常のありがたさを感じました。そんな中でも個々のニーズに答えながら出来る活動を探ったり、頂ける仕事をしながら皆様意欲的に活動していただけたこと、また、その場を提供できたことは良かったと感じていますが、仕事の確保や展開の仕方等、色々と考えさせられた一年でした。

2、利用状況

アシスト(定員 30)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
開所日数	21	18	22	21	19	20	22	19	20	19	18	23	242	20.2
実人数	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372	31.0
延人数	522	456	574	547	458	506	562	483	492	463	435	559	6,057	504.8
利用率(%)	82.9%	84.4%	87.0%	86.8%	80.4%	84.3%	85.2%	84.7%	82.0%	81.2%	80.6%	81.0%	-	83.4%

利用率(%) = 延人数 ÷ (稼働日 × 定員) × 100

月の稼働日数に対する利用率(%)を次表で報告します。尚、合計欄の利用率及び実人員の数値は、月平均値です。

3、活動内容

就労を中心に利用者の現状にあった活動内容を探り提供してきましたのですが、今年度はコロナウイルスにより、例年のような仕事を確保できず受託事業では、鈴与マタイ様・新勝商事様・ミネロン様・石井化成様、また、食品関係のビオクラ食養本社様でも偏りが出てしまいました。仕事がいだけない時期もあり、利用者の活動も不安定なものとなりました。

年度の途中より、受注事業も持ち直してはきましたが、クッキーやパンの販売会は行えず自主生産品の販売の仕方も課題となりました。仕事の確保をはじめ今年度は、そういった意味ではとても考えさせられる一年となりました。

1) 活動による収入状況(令和2年4月～令和3年3月)

収入

事業名	内容	収入額	小計	比率(%)	前年比(%)
受託事業	新勝商事外	2,189,659	2,189,659	14.5	85.1
製造販売事業	焼き菓子製造販売				
	クッキー製造販売	10,751,483			
	パン製造販売	1,743,670	12,495,153		
	作品販売	1,000	12,496,153	82.8	77.2
リサイクル事業	ダンボール、新聞紙等古紙回収	7,360			
	牛乳パック・チラシ回収(セルプ)	171,766	179,126	1.20	92.1
清掃事業	佐久合庁、佐久建設事務所(セルプ)	229,477	229,477	1.50	101.6
	合計		15,094,415	100.0	78.7

昨年の活動内容の継続といった状況でしたが、コロナの影響もあり全体の収入とすれば、前年比

78.7%と減収となってしまいました。内容としては、収入の中心である「製造販売事業」での減収をはじめ、ほとんどの部門で減収となってしまいました。現実的に活動自体も満足に行えなかった時期もありましたから必然とも言えますが、改めて仕事の確保・販路また在り方については継続した課題と言えます。

2) 賃金支払状況

延人員	支払年額	平均月額	平均月額 前年比(%)	最高年額	最低年額
323	4,683,201	14,499	103.5	328,793	37,482

☆賃金支払合計額の収入に対する割合 31.0% (前年度 26.3%)

☆延べ人数は前年度に比べ減少しました。作業収入も減収となり、賃金支払合計額の収入に対する割合は上がることとなりました。

現在、工賃の支給方法を時給制にしている為、収入が少なくても時給通りの工賃を支払うこととなりますので収入を上げる努力をしていかなければなりません。必要経費の就労支援事業収入からの支出との関係も含めなかなか理想通りにはいかない現実もあります。

3) 余暇支援

新型コロナウイルス感染対策もあり、大きなレクリエーションは出来ませんでしたが、ささやかですがアシスト内でご苦労さん会を行いました。

4) 保健・治療

通院をはじめ、健康管理・服薬管理等を看護師・サポートセンターとも連携した中で行うことが出来ました。

4、防災対策

諸設備の安全点検を定期的に行いました。また、有事に備え、避難訓練・防災訓練を行いました。

5、家族との連携

例年通り、各ホーム・家庭・学園ともに連絡を密にし、連携を図ってきました。連絡帳も有効に利用しました。

6、関係機関との連携

本園・アレーズ・サポートセンターをはじめ、市町村・各関係機関との連携を密にし、利用者支援の向上に努めました。

7、地域との交流

例年通りの地域行事への参加は出来ませんでした。各種イベントも中止となり、販売会等での交流も出来ませんでした。

8、建物・設備及び備品

作業室にエアコン設置 (2台)

9、職員の状況

1) 令和2年4月1日現在の配置

a, 管理者 (兼) 1 b, サービス管理責任者 1 c, 生活支援員 6 d, 職業指導員 2
合計 10名 (正規 5、嘱託 5)

☆事務長、主任栄養士、事務員(2名)は他事業所と兼務しました。

10、会議及び研修

a、	職員会議(アシスト会議)	(月1回) 12回
b、	管理者・サビ管、主任合同会議(アレーズにて)	(月1回) 12回
c、	管理者会	(隔月+臨時)年15回
d、	倫理委員会(アレーズにて)	年4回
e、	代表委員会(アレーズにて)	年6回
f、	食事委員会	年4回
g、	広報委員会	年3回
h、	虐待防止委員会	年2回(+会議時)
i、	研修委員会	年4回

令和2年度 サポートセンターこまば事業報告書

1、概況

地域生活の軸となる、生活の場を提供しているサポートセンターこまばでは、利用者のニーズに伴い、退所される方、また、新規で利用される方・ホーム間での移動等と動きはありましたが、大きな混乱もなく過ごすことができました。ですが、やはり、新型コロナウイルス感染対策といった意味では、皆様がとても楽しみにしている買い物や外出の制限をせざるを得ず、我慢が多い一年だったかと思えます。そんな中でもドライブやホーム内で出来るレクリエーション等を行い例年通りとはいきませんでしたでしたが、楽しみの提供もしてきました。

近年継続した課題である高齢化をはじめ、各利用者のニーズが多様化してきている事もあり、個別の対応が多くなってきていますが、それぞれの思いに寄り添いながら対応させていただきました。

2、利用状況

1)利用者の動向

	氏名	性別	年齢	入退去年月日	備考
退去	K・K 様	女性	83歳	令和2年5月13日	介護保険施設へ
退去	O・H 様	男性	49歳	令和2年8月9日	死去
入居	M・Y 様	男性	32歳	令和2年7月1日	三河田の家Iへ
体験	M・Y 様	男性	32歳	令和2年6月30～7月29日	三河田の家I
体験	K・M 様	男性	42歳	令和3年2月15～17、2月26～3月1日、3月8～15日、3月22～4月5日	三河田の家I
体験	S・S 様	男性	33歳	令和3年3月20～21日	志賀の家

2) 利用状況

サポートセンター（定員 24）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
実人数	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	245	20.4
延人数	623	614	590	609	597	590	614	591	617	620	560	618	7,243	603.6
利用率 (%)	86.5%	82.5%	81.9%	81.9%	80.2%	81.9%	82.5%	82.1%	82.9%	83.3%	83.3%	83.1%		82.7%

$$\text{利用率 (\%)} = \text{延人数} \div (\text{稼働日} \times \text{定員}) \times 100$$

実人員の、月の日数に対する利用率 (%) を次表にて報告します。尚、合計欄の利用率は平均利用率です。

3、利用者の暮らし

1) 日常生活支援

必要な支援を受けながら、もっている力を引き出し、自律的、主体的に過ごせるよう配慮。また、快適な環境を整え、利用者さんの想いに応えられるよう多くの方と連携し、一人ひとりが、自分のペース、スタイルでメリハリのある生活が送れるよう見守ってきました。

2) 保健・治療

心身の状況を把握し、体調に変化がある時は、早期対応、予防や治療等努めました。

慢性疾患や肥満が増え、食生活、生活習慣の改善が必要になってきましたので、栄養士、看護師と連携し、取り組んできました。

年間通して、新型コロナウイルス感染症対策として、検温・消毒等の徹底をしました。

12月～3月インフルエンザ、ノロウイルス感染予防の為、消毒、手洗い等強化しました。対応については、感染対策マニュアルを参照しました。

☆入院状況

氏名	年齢	入院先	期 間	病 名
○・H様	52歳	佐久医療センター	令和2年7/30～8/9	くも膜下出血
T・H様	86歳	佐久病院	令和2年8/19～20	ヘルニア

4、交流事業

- ・ 毎年ある11月の佐久地区グループホーム交流会は中止となりました。

その他 法人行事、地域行事等 多くの勾留の機会が中止となってしまいましたが、各ホームで出来るレクレーションを行うことが出来ました。

☆ ホームレク(利用者・世話人参加)

☆ ゴールデンウィーク・お盆休み・年末年始休み時にドライブに出かけお弁当を楽しみました。

5、利用相談事業

8月、10月オンブズマンの方の訪問も制限されてしまいましたが、少人数でしたが想いや要望等ゆっくり聴いて頂き満足されていました。内容は本年の報告書に含みます。

6、防災対策

年2回避難訓練実施、また、緊急時、急病時の対応等も訓練を行いました。

自動火災通報装置・消防署への通報・避難経路等確認、特に喫煙者の方には喫煙場所、火の管理に注意を払いました。

7、家族との連携

心の拠り所になっていますので、帰省、行事の参加等 協力して頂き家族とのつながりを大事にしていますが、今年度は帰省等の制限をせざるを得ませんでした。

8、日中活動サービス提供者等との連絡調整

「アシストこまば」「アレーズこまば」「居宅介護事業所」等 関係機関との連携・協働し、利用調整をおこないました。

9、地域との交流

地域の一員として、区費の支払い、「こまばだより」配布等 顔見知りになっています。例年通りの地域の行事や社会資源の利用、また、事業所行事のお誘い等は行えませんでした。

10、施設（グループホーム）整備等

各ホームの居室にエアコンを設置しました。

11、職員の状況

1) 令和2年4月1日現在の配置

- a. 管理者（兼） 1
- b. サービス管理責任者 1
- c. 生活支援員 1
- d. 世話人兼生活支援員（短時間勤務職員、代表世話人 4、世話人 13）

合計 17 名

☆宿直業務は一部シルバー人材センターに業務委託をしたほか、事務長・主任栄養士・事務員（2）は他事業所と兼務。

12、会議及び研修

- a、アシスト会議にサービス管理責任者、生活支援員出席 (月 1 回) 年 12 回
- b、管理者・サビ管、主任合同会議（アレーズにて） (月 1 回) 年 12 回
- c、管理者会議（アレーズにて） (月 1 回+臨時) 年 15 回
- d、倫理委員会（アレーズにて） 年 4 回
- e、代表委員会（アレーズにて） (隔月) 年 6 回
- f、虐待防止委員会 年 2 回 (+会議時)
- g、研修委員会 年 4 回
- h、代表世話人会 年 12 回
- i、全体世話人会 年 1 回
- j、各ホーム世話人会 年 12 回

令和2年度 相談支援事業所こまば事業報告書

1、概況

当法人事業所をご利用されている利用者を中心にご本人やご家族の困っていること、願っている生活、夢や希望をうかがい、個々のより良い暮らしに近づけるためのサービス等利用計画を作成しました。その際、例年通り市町村や地域のサービス事業所と連携をとり、より良いサービスが提供できるようにしたかったのですが、コロナウイルス感染対策により、各事業所との連携をはじめ、個人との面接や相談が満足に行えない中でサービスの見直しをせざるを得ない場面もありました。そんな中でも出来る限り本人に寄り添った計画作成をしてきました。

また、制限された中でしたが、関係機関の連絡会・研修会についても参加し、資質の向上に努めました。

2、活動内容

- 1) 合計相談実施件数（モニタリングを含む） 323 件
- ・計画相談 . . . 50 件
 - ・モニタリング . . . 169 件
 - ・その他ケア会議 . . . 104 件
- 2) 研修会等出席状況
- ・県の研修 . . . 2 回
 - ・知障協相談支援部会 . . . 5 回
 - ・佐久圏域研修 . . . 0 回
 - ・佐久圏域相談支援部会 . . . 0 回
 - ・佐久市事業所連絡会 . . . 1 回
 - ・研修・人材ワーキング . . . 0 回
 - ・GSV研修会 . . . 2 回
 - ・支援センターとの相談 . . . 7 回
 - ・介護保険関係 . . . 3 回
 - ・その他 . . . 4 回
 - ・相談支援専門員協会 . . . 49 回

全事業所共通項目

1、苦情相談事業

「佐久ふくしネットワーク（略称；佐久ネット）」に加入し本事業を行っておりますので、その状況の概要を報告します。

1) 担当者等

- ・苦情解決責任者 ; 佐久こまば学園：高熊英一（管理者）
アレーズこまば：早水卓也（管理者）
アシストこまば：早水卓也（管理者）
サポートセンターこまば：早水卓也（管理者）
- ・苦情受付担当者 ; 佐藤美知子（事務長）
- ・第三者委員（佐久ネットオンブズマン）
大井富美子さん（後見ネットあいあい・社会福祉士）
土屋栄司さん（社会福祉士等）

2) 面談実施日及び相談者数

回数	実施年月日	相談者数	出席オンブズマン
第1回	令和2年 6月12日 佐久こまば学園	—	コロナウイルス感染対策のため中止
第2回	令和2年 8月21日 アシストこまば	6名	大井さん、宮澤さん、浅川さん
第3回	令和2年 10月23日 アレーズこまば	6名	宮沢さん、宮澤さん、土屋さん
第4回	令和3年 2月5日 アシストこまば	—	コロナウイルス感染対策のため中止

3) 苦情等相談内容

今年度はコロナウイルス感染対策といった対応の関係で、年間で2回だけしか利用者相談を設定できませんでした。利用者さんたちには今まで来ていただけていたのに今年に関しては満足のいく相談日を設定してあげることが出来ず、申し訳なく思うところもありました。そんな中でも来ていただけたときはとても表情もよく、また、丁寧に話を聞いて下さりとても感謝している所です。具体的な相談内容の中では、コロナ関連でのものもあり、今年度の特徴が出ていると感じました。また、オンブズマンさんとの話の中で、当たり前の日常の中からも気づきにもつながるご意見を戴けました。

☆第三者委員（オンブズマン）より報告があった主な内容を次に掲げます。

処理結果（担当からの返答書より）は、下段に記載

a、職員に対する苦情又は要望

特にありませんでした。

b、事業所に対する要望

1、㊦：アレーズこまばは楽しい？ 楽しい。

利用者：困ることはない？ 全然ない。

2、利用者：一人暮らしがしたい。

㊦：職員や世話人さんに話した？

利用者：職員さんに何回も言った。職員さんには「いいことだね、それには一人でご飯作れなくちゃね」と言われる。

支援員：いつか一人暮らしをしたいという事はGさんの夢なので、ときどきお話ししていただきます。ホームでも「昼食を一人で作ってみた」と教えて下さり少しずつ一人暮らしのための準備をされているようです。

3、㊦：GHのご飯はどうですか？

利用者：おいしい。

㊦：全部食べられる？

本人：うなずく。

c、作業、活動に関する事

1、支援員：パズルがすごいんです。原画無しでどんどんはめ込んでいきます、短時間で。

㊦：やり慣れた様子ですuisいとパズルをはめていき、最後のパズルをはめ終えると「セイコウ（成功）」との声。喜びや満足感を「セイコウ」で表しているのでしょうか。

2、㊦：（アレーズにて）普段はここに来て何をしていますか？

利用者：カレンダーの用意をしたり・・・。

㊦：そろそろ始まる？

利用者：うなずく。

㊦：どんなことが好きですか？

利用者：畑とカレンダー。

㊦：前回に比べて元気がないな？と感じたのが正直な気持ちです。ご自分のペースで楽しみながら穏やかな日々を過ごしてほしいと思います。

支援員：全体的に年齢による低下がみられていますが、作業班での活動や運動などを通して、

元気にお過ごしいただけるよう支援を行っていきたいと思います。

3, ㊦：(アシストにて)お仕事はどう？楽しい？

利用者：はい。

㊦：仕事以外でも嫌なことはある？

利用者：ない。

支援員：アシストに慣れてきてからは、「おはよう」「これお願い」「ありがとう」等、聞こえるようになり作業中においても目配り・気配りがしっかりと出ています。

4, ㊦：毎日どんな仕事してるの？

利用者：クッキーの裏ラベル貼ってる。お仕事は嫌いじゃない。

(㊦：ラベル張りの仕事は気に入って張り合いをもってやっている様でした。何かやれる。何かできる。という事は生きる意欲につながりますね。)

5, (脳出血による右半身まひの方との面接の中で)

㊦：これからの希望ありますか？

利用者：働きたい。アシストには1年半の訓練をするために来た。あと半年残っている。

㊦：他のメンバーへの指導はできるのでは？

利用者：思ったことの2割くらいしか話せないのも無理だと思う。

支援員：アシストを利用するようになり1年が過ぎました。非常に難しいケースになるかと考えていました。周りの利用者との関わり、作業等においても。実際、多少トラブルもありましたが、概ね良好に過ごせています。しかし、今後については課題が沢山あります。ご本人が望むようにアシストを経て次のステージに上がれるとよいのですが。理想と現実の中で多くの葛藤を抱えていると思います。アシストではできる限り快適に活動に参加できるように環境等にも配慮し支援をしていきます。

6, アシストでの仕事(クッキーのシール貼り)を見てから面接し、

㊦：クッキーのシール貼り、慣れた手つきで手早くやられていましたね

利用者：はい。

㊦：他の仕事は？

利用者：何でもやります。

㊦：アシストで仕事を始めてから11年になるのですね。大先輩ですね。新しく来られた方にも教えてあげたりしているんですか？

利用者：はい。仕事のやり方を教えています。

支援員：すべての作業に意欲的に取り組んでいただいています。どこの作業室に入っても手際よく作業を進めて下さっています。

*退出時、「このクーラーの効いた部屋で仕事したいなー」と言われていた場面で。

㊦：真面目に日常生活や仕事に取り組んでいる方にとって本音が吐き出されホッとしました。こういう一言が言える環境・雰囲気は大切だと思いました。

d、健康に関する事

特にありませんでした。

e、利用者同士に関する事

1, 利用者：携帯電話の配信アプリを携帯を持っているほとんどの人がしているため、個人情報

漏れないか心配。その点は、職員の方に話して対策してもらっています。

2, ㊦：アシストではどんなお仕事しているの？

利用者：「仕事がある時と無い時があって」「何やっていいか相談して納品に行ったりする。」「忙しい時は忙しいけど」（＊コロナの関係で仕事が安定しなかった時でした）

㊦：仕事一生懸命やっているんだね。

利用者：「一生懸命やってる」

㊦：仲のいい人は？

利用者：「職員やお友達がいるから楽しい」

f、家族に関する事

1, ㊦：好きな食べ物は？

利用者：シューマイ、パスタのミートソース。お母さんが作ってくれる。お母さん大好き。

2, 母より：（通所から）「機嫌よく帰ってくる」と。

㊦：お母さんの言葉は、良い評価を表している言葉だと思います。

3, 支援員：（本人の自己紹介後、）サッカーをやっているお兄さんのおさがりの服を着ているのが嬉しい。父と一緒に兄の試合を見に行っています。

㊦：本人がお兄さんの名前を何度も呼んでいて兄妹仲が良いと思いました。

g、その他

1, ㊦：コロナで出られなくなっちゃったね。旅行とかは？

利用者：今年には行かなかった。来年旅行に行かれば。

2, 支援員：散歩が大好きです。室内散歩も多いです。体調によって枕に頭をつけているときは外に散歩に行かないでいます。私たち支援員が利用者さんの体調や気持ちをおしはかって想像して対応しています。

㊦：「今の状況をおしはかって想像しながら対応するという支援員さんの言葉が印象的でした。言葉に訴えられない利用者さんにとっては本当に大切なことだと思います。

3, 利用者：（アシストにて）職場全体で規則的なことで不満がある、と。

㊦が尋ねると、

利用者：「コロナ」と。一番気になるのが人との距離が保てない点だとのこと。朝職員の方が「人との距離を取ってくださいね」と皆に伝えるのですが、守れていない。施設としての対策が甘いのではないかと。

支援員：コロナの感染対策については、心配なことがあったときには職員にその都度言ういただき、一つ一つ解決していけるようにお話をしています。また、おうちの方とも感染対策の方針を話し合っておいていただくようお願いしている所です。

2、その他

1) 異動等

令和2年4月1日付	嘱託職員採用	2名
令和2年6月15日付	正規職員採用	1名
令和2年7月31日付	正規職員退職	1名
令和2年8月16日付	嘱託職員退職	1名
令和2年8月17日付	嘱託職員採用	1名
令和2年9月30日付	嘱託職員退職	2名
令和2年12月1日付	正規職員採用	1名
令和2年12月31日付	嘱託職員退職	1名
令和3年3月1日付	正規職員採用	1名
令和3年3月22日付	正規職員採用	1名
令和3年3月31日付	嘱託職員退職	1名

2) 主な動き

月	日	事項
令和2年 4	1	開園記念日 辞令交付 嘱託職員2名採用 ルルパ(株)に給食業務委託開始
	9	精神神経科往診 家族会「会計監査」
	10	エレベーター法定検査(アレーズ)
	15	消防設備点検(本園)
5	13	三河田の家I 利用者1名退所
	19	県セルフ臨時理事会に早水管理者出席(長野市)
	26	法人会計監査(アレーズにて)
	29	こまば会監査
6	13	法人理事会
	15	職員1名採用
	16	セルフ東信ブロック役員会に早水管理者出席(上田市)
	27	法人評議員会(書面決議)
	30	こまば会代議員会(書面決議)
7	1	本園利用者1名:利用開始 アレーズ利用者1名:利用開始
	9	セルフ東信ブロック会議に早水管理者出席(東御市)
	10	佐久ふくしネットワーク運営委員会に早水統括管理者出席(立科町)
	16	七夕会(本園)
	28	佐久総合病院より「感染症対策の実地指導」(長野県看護協会より)
	30	三河田の家I 利用者1名利用開始
	31	職員1名退職
8	4	協会「地域支援部会佐久支部研修会」職員13名出席(市内)
	6	マルハン佐久店様よりお菓子の寄贈
	9	O・H様 ご逝去
	11	故O・H様 葬儀
	13~16	夏季帰省
	15	D・S様 ご逝去

	16 17 18 20 21 25 27	職員1名 退職 職員1名 採用 故D・S様 葬儀 「県障がい者支援課行政説明会」佐藤事務長出席（WEB会議） 「佐久地区レク大会・ひだまり作品展実行委員会」に堀込主任・清水裕サビ管出席 オンブズマン利用者相談（アシスト） 協会「新任職員研修」に神津支援員出席（WEB会議） 協会「保健部会」に柳澤看護師出席（WEB会議）
9	2 11 12 14 15 19 23 23・24 24 29 30	NM様退所 「相談支援従事者現任研修」に川口サビ管出席、講師として里見相談支援専門員出席（市内） 法人理事会 本園居室エアコン設置工事 利用者健康診断（本園にて） 法人評議員会 本郷の家居室エアコン設置工事 「相談支援従事者現任研修」に川口サビ管出席、講師として里見相談支援専門員出席（市内） 志賀の家居室エアコン設置工事 三河田の家Ⅰ居室エアコン設置工事 職員2名退職
10	1 5～ 8 13 15 16 21 23 27 28	本園利用者1名、利用開始 ひだまり作品展特別展（水嶋クリニック様） 「相談支援従事者現任研修」に川口サビ管出席、講師として里見相談支援専門員出席（市内） 精神科往診 内科検診（アシスト） 消防設備点検（本園） 「相談支援従事者現任研修」に講師として里見相談支援専門員出席（市内） 建物検査（本園・アレーズ） 「相談支援従事者現任研修」に川口サビ管出席、講師として里見相談支援専門員出席（市内） エレベーター点検（アレーズ） オンブズマン利用者相談（アレーズ） 「相談支援従事者現任研修」に川口サビ管出席、講師として里見相談支援専門員出席（市内） ミニ運動会（本園）
11	2 4 5 9 10 11 14～16 17・18 25 26	本園利用者1名、利用開始 職員健康診断（本園にて） 歯科検診 土砂災害想定避難訓練（本園） 内科検診（本園） インフルエンザ予防接種 「長野県自立支援協議会」早水統括管理者出席（WEB会議） NM様 ご逝去 ひだまり作品展（イオンモール佐久平） 「相談支援従事者現任研修」に講師として里見相談支援専門員出席（市内） 協会「相談支援部会」に里見相談支援専門員出席（WEB会議） 「相談支援従事者等ストレングスモデルのGSV研修会」に里見相談支援専門員、出席（市内）
12	1 16 17 18 21 23	職員1名採用 避難訓練（三河田の家Ⅱ） 避難訓練（志賀の家） アレーズこまばクリスマス会 「佐久圏域障害者自立支援協議会（全大会）」に早水統括管理者、出席（市内） 協会「地域支援部会地区担当者会議」に早水管理者・渡辺（伸）サビ管、出席

		(WEB会議) 避難訓練(本郷の家) 25 本園クリスマス・忘年会 28 アシスト忘年会 31 職員1名退職
令和3年 1	4 12 13 14 16 18 26 28 30	活動開始(アシスト・アレーズ) サビ児管更新研修、講師として里見相談支援専門員出席(web) セルフ東信ブロック打ち合わせ会議に早水管理者出席(千曲市) 精神科往診 法人理事会 サビ児管更新研修、講師として里見相談支援専門員出席(web) 長野県自立支援協議会就労支援部に里見相談支援専門員出席 アシスト避難訓練 サビ児管更新研修、講師として里見相談支援専門員出席(web) サビ児管更新研修、講師として里見相談支援専門員出席(web) 法人評議員会
2	1 5 9 12 16 17 18 25 28	協会「相談支援部会」(WEB会議) マルハンお菓子寄贈 セルフ東信ブロック会議 早水管理者出席(東御市) 内科検診(学園) サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) 地域支援部会佐久支部会 早水管理者・渡辺サビ管出席(web) サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) カーブス佐久野沢店より「フードドライブ」により食料品の寄贈 サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) 佐久圏域GSV研修 里見相談支援専門員出席 オンブズマン(大井様・土屋様)来園。
3	1 2 3 4 10 11 12 13 16 26 27 29	サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) 地域生活拠点コア会議早水統括管理者出席(web) 日本知障協オンライン会議里見相談支援専門員出席 サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) 佐久ふくしネット運営委員会 早水統括管理者出席(web) 浄化槽法定点検 サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) 家族会役員会 サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) サビ児管基礎研修 講師として里見相談支援専門員出席(web) 法人理事会 県自立支援協議会 早水統括管理者出席(web) 県知障協総会 早水統括管理者出席(web) 法人評議員会 セルフ理事会

2) 実習生一覧

期間	学校名	人数
令和2年		
12/18~12/21	恵仁会(アシスト)	1名
12/22~12/23	恵仁会(アシスト)	1名
12/24~12/25	恵仁会(アシスト)	1名
令和3年		
3/15~3/26	上田女子短期大学(本園) 明和短期大学(本園)	1名 1名